

学校名	福島市立大森小学校	校長名	須田 尊		
住所	福島市大森字南中道4番地	児童数	735名	学級数	27学級
TEL	024-546-9405	ホームページアドレス	http://www.fukushima.gr.fks.ed.jp/		

確かな学力の定着を目指した少人数教育の取組 ～大規模校の実態等を踏まえて～

1 少人数指導の計画等

本校は児童数700名を越える大規模校であるため、少人数学級編制を行い、一人一人にきめ細かな指導を行うことを目指している。本校の子どもたちは総じて基本的な学習習慣が身に付いており、話をしっかり聞き、授業に真剣に取り組んでいる。このことを踏まえながら、主に次の視点での取組を行うことで、確かな学力のより一層の定着を目指すことができるようにした。

(1) 教員の指導力向上 (2) 指導方法の工夫 (3) PDCAサイクルによる検証

2 実践の概要

(1) 教員の指導力向上を図る

○ 本県、そして本校の課題でもある、算数科における活用問題(いわゆるB問題)への対応のため、現職教育で算数科を中心として教員の指導力向上を図るようにした。大規模校の実態を踏まえ、学年ブロックを中心として全員が研究授業を行い、教員同士が相互に教え合い・高め合うこと、特に指導案の事前検討とともに授業後の反省を学年ブロックや学校全体で行うことで、指導力の向上を図ることができるようにした。

(2) 指導方法を工夫し、確かな学力の定着を図る

① 学習支援ボランティアの活用

高学年の算数科の指導で「学習支援ボランティア」を活用しT・Tによる指導を行うことで、子ども一人一人に対するきめ細かな指導の充実を図ることができるようにした。

② 教科担任制の導入

「理科」等において、可能な限り教科担任制を導入し、教員の専門性を生かした指導を行うことにより、学習への興味関心を高め、学力向上を図ることができるようにした。

(3) PDCAサイクルによる実践の検証等

○ 「全国学力・学習状況調査」等の結果を踏まえたロングスパンのPDCAサイクルとともに、「単元テスト」「定着確認シート」等によるショートスパンのPDCAサイクルを機能させ、実践の検証を定期的に行い、実践の確認・修正・検討等を行うようにした。

3 実践の成果と課題

○ 現職教育を中心とした算数科の授業づくりの実践を通して、教員一人一人の指導力向上が図られた。また、学年内の連携、一貫性のある指導により、児童の思考力や言語表現力が高まり、算数科が楽しいと感じる児童が増えた。

○ 学習支援ボランティア(元高等学校数学科教員)とのT・T指導により、特に補充的な学習の機会の充実を図ることができた。小学校から高等学校への学びの連続性を意識した指導について担任と連携を図りながら指導するなど、担任の指導力向上にも結び付いた。

○ 教科担任制を導入したことで、特に「理科」では単元テストの平均点が90点を超えるなど、学力の向上が見られた。また、理科を楽しいと感じる児童が増えた。

○ 「全国学力・学習状況調査」等の結果(成果・課題等)を全教員で共有し、対応について共通理解を図ったこと、「定着確認シート」を計画的に実施・検証をしたことにより、平成28年度「全国・学力学習状況調査」では、全国平均を大きく上回る結果となった。

● 今後の課題としては、PDCAサイクルをより一層機能させるとともに個に応じた指導の充実を図るために、「定着確認シート」の結果を各回ごとに入力することで、個別に変容を数値的に把握し、それを指導に生かすなどの対応に取り組むことが挙げられる。